

おとなのけんか (Carnage)

観賞日 2025 年 4 月 14 日 上映時間 80 分

【概要】

制作 2011 年 フランス、ドイツ、ポーランド、スペイン
監督 ロマン・ポランスキー
脚本 ヤスミナ・レザ、ロマン・ポランスキー
原作 ヤスミナ・レザ 『大人はかく戦えり』
音楽 アレクサンドル・デスプラ
撮影 パヴェル・エデルマン
出演 ジョディ・フォスター (ペネロピ・ロングストリート)
ジョン・C・ライリー (マイケル・ロング・ストリート)
ケイト・ウィンスレット (ナンシー・カウマン)
クリストフ・ヴァルツ (アラン・カウマン)



【あらすじ】

ニューヨーク、ブルックリン。公園で遊んでいた少年たちが言い争いを始める。やがて、争いがエスカレートし、11歳のザッカリー・カウアンがイーサン・ロングストリートを棒で殴打。イーサンは前歯2本を折るという怪我をする。その後、加害者ザッカリーの両親アランとナンシーが、被害者イーサンの両親マイケルとペネロペの家に謝罪にやって来る。マイケルは金物商、妻のペネロペはアフリカ好きの作家、アランは製薬会社の顧問弁護士、妻のナンシーは投資ブローカーと4人はそれぞれ仕事を持っていた。子育てなど面倒なことは私に押し付けているとってナンシーがアランを攻め夫婦げんかが始まる。酒の勢いもあって、売り文句に買い文句、今度はカウアン夫妻がけんかを始める。敵味方が入れ替わり、今度は夫同士対妻同士の組み合わせに変わる。やがて、4人はそれぞれが勝手に言いたいことを言い始め、收拾のつかない状態になる。

子供のけんかがより始末の悪いおとなのけんかに変わる。トニー賞受賞の舞台劇「大人は、かく戦えり」をロマン・ポランスキー監督が映画化。

【解説】

■ポイント

●ロマン・ポランスキー (1933 年～)

ユダヤ教徒の父とカトリック教徒の母との間にパリで生まれる。3歳でポーランドに引っ越す。大戦中、アウシュヴィッツに連行されるが生き延びる。1962年、「水の中のナイフ」で監督デビューし、注目を浴びる。その後、渡米し「ローズマリーの赤ちゃん」(68年)でハリウッドデビュー。同年、女優のシャロン・テートと結婚するが、翌年チャールズ・マンソンによりシャロン・テートが殺害される。78年、未成年女子への性的暴行罪で有罪となり、フランスに逃亡。「戦場のピアニスト」(02年)でアカデミー賞監督賞を受賞するが授賞式には不参加。



■見どころ

●セリフのある登場人物は4人

オスカー俳優たちの緊迫のコメディ劇

●ロングストリート夫妻が帰ろうとするたびに何かが起きる

●ラストシーン

おとなのけんかをよそに公園で仲良く遊ぶ子供たち。捨てられても元気なハムスター。